



2016.3.5

No. 266

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費に含む)
1996年3月4日第三種郵便物許可

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

杉山 元

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

女性活躍推進法に関する学習会を開催 労組が取り組むべき重要ポイントなどを学習

女性活躍推進法に関する学習会が1月27日、北海道自治労会館にて行われ、連合北海道や構成産別の役員が参加した。これは、昨年8月に成立し4月1日に施行される女性活躍推進法に関し、組合もこの法律を活用して企業に働きかける必要があることから、改めて学習を深めるために連合本部の井上久美枝総合男女平等局長を招いて開催されたもの。

はじめに連合北海道男女平等参画推進委員会の浪岡努委員長から、政治情勢とからめて「自民党の暴走を止めるために、5区の補選で池田まきさん、参議院選挙で徳永エリさんの2人の女性候補を勝利させよう」と挨拶があった。

つづいて井上総局長からの講演に移った。女性活躍促進法は、国、地方公共団体、従業員301人以上の事業所に対し、女性活躍に関する職場の状況把握と分析を行い、行動計画を策定し、それを都道府県労働局に届け出て公表することを義務づけている。井上総局長は、まず「女性が活躍できる職場は男性にとっても働きやすい職場である。行動計画を実効性あるものとするために、組合も関与できる体制をつくり女性を参画させること、組合員のアンケートやヒアリングを行って準備することが重要である」と述べたうえで、行動計画策定の流れに沿って組合が取り組むべきことを説明した。中でもポイントは、状況把握の選択項目にある「男女の賃金の差異」については、「男女間格差の総合指標であることが



ら必ず把握するように事業主に働きかけること、非正規雇用を含めたすべての労働者を対象とした状況把握、課題分析をさせることなど、策定した行動計画で労働条件に関する内容については、労働協約を締結することを求め、労働条件の改善につなげていくことが重要」とした。

司会を務めた連合北海道の齊藤勉男女平等局長からは、「行動計画が公表されるということは、就職活動をする学生にとってはその企業が働きやすい企業かどうか分かるということであり、逆に、企業にとっては人材確保のためのよいPRにもなる。ぜひ公表については強く進めたい」という発言もあった。この学習会で学んだことを各産別単産でも広めていくことを確認し、学習会は終了した。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=1963>

「連合白書」学習会を開催 連合本部・須田総合労働局長を講師に迎え

「連合白書」学習会を1月27日、北海道自治労会館において開催し、産別及び各地協、石狩地区連合から役員、組合員80名が参加した。講師には「連合白書」を作成した連合本部の須田総合労働局長を迎え、「白書」記述の背景や数値の意味などについて分かりやすく説明を受けた。

春季生活闘争を進める上でのオルグや組合員向けの学習会には説得力のある説明が重要。もう一度「連合白

書」を読み込んで、今春闘の取り組みに全力を出そう。「連合白書」については若干の余部があるので、希望する方は連合北海道組織労働局までお問い合わせください。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=1973>

「米海軍軍艦の小樽港入港に関する申し入れ」を実施 北海道と在札幌米領事館に対して入港反対を要請

連合北海道は、米海軍掃海艦「パトリオット」が2月3日から7日、ミサイル駆逐艦「ベンフォールド」が2月5日から9日に小樽港に入港する計画について、1月27日北海道、1月28日在札幌米領事館に対し反対するよう申し入れを行った。

申し入れでは、友好親善を名目としているが軍事利用を目的としたものであり、自治体の戦争協力をなし崩しに進めるものであること、また、安全保障関連法成立後の入港は米軍との一体化を加速させるものであると指摘。さらに核弾頭搭載可能な艦船の入港は核兵器廃絶平和都市宣言を行っている小樽市民の意志に反すると訴えた。

これに対し、北海道志田篤俊危機対策局長は「港湾管理者である小樽市長の意向が尊重されるべきと考える。核兵器の搭載の有無については、外務省に確認しており、さらに今後、在札幌米国総領事館に対し、乗員の規律の厳正な保持と、事故防止に万全を期すよう要請する」と述べた。連合北海道はこの回答に対し、「問題の根幹は日米地位協定にある。やはりこれを抜本的に見直



すことが先決」と指摘。これに対し道は「港湾利用は日米地位協定に基づいて行われるものであり、国の基本的な施策である外交・安全保障に関わるものであるが、今後も渉外知事会を通じて日米地位協定の見直しを要望していく」とした。また、在札幌米国総領事館は「要請のあった旨、米本国に伝える」とした。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=1942>

「連合北海道地域ユニオン第16回定期大会」を開催 未組織労働者の組織化、2016春闘など大会アピールを採択

「連合北海道地域ユニオン第16回定期大会」を1月23日、TKPガーデンシティ札幌駅前において開催し、代議員および傍聴者含めて約65名が参加した。

冒頭のあいさつで渡辺直志連合北海道地域ユニオン委員長は、「現政権は、労働規制緩和として『高度プロフェッショナル制度』の導入を目指しており、他にも解雇の金銭解決制度といった労働者保護ルールを、企業の使い勝手の良いように改悪しようとしている。このような労働者保護ルール改悪を阻止すべく、国会の力が重要になってくる。したがって、連合は、今後の5区の補選ならびに参議院選挙に向けて、全力で取り組まなければならない。同時に、春季生活闘争において意志合わせをし、各種課題解決に向けて共闘していかなければならない」と述べた。つづいて、下田祐二連合本部組織拡大・

対策局長が来賓あいさつした。

その後、議事に入り、執行部が「2015年度の活動報告」および「2016年活動方針(案)」「2016年度予算(案)」「2016年度役員選出(案)」について提起した後、それぞれの議案について採決し、承認された。

最後に、「地域ユニオンは、未組織労働者の組織化を進め、2016春季生活闘争で月例賃金にこだわり、底上げ・底支え、格差是正をめざす」とする大会アピールを採択した。

大会終了後、大瀧淳彦全労済北日本事業本部専務執行役員付次長を講師に迎え、「FPから見た全労済の上手な活用法～勤労者が安心して暮らせる社会づくり～」と題した学習会を開催した。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=1926>



連合北海道は池田まきさんを推薦しています!

衆議院北海道5区選挙区 補欠選挙

告示日 2016年4月12日(火) **投票日** 2016年4月24日(日)

イケマキを知る5つのキーワード



イケマキは**現場主義**

言葉にならない辛さや想い、願いは、その人からにじみ出てくるもの。現場に行かねば、ご本人にお会いしなければ真実は見えない。だから、まずは現場へGO!

イケマキは**勉強家**

仕事と子育てをしながら15年かけて大検と福祉分野の資格を取得。さらに公共政策大学院へ。社会の不条理を解決するには、まず知ること。「できない」理由はたくさんあるけれど、どんな時も「できる」方法を探すことをあきらめない。

イケマキは**情熱的**

スター選手で勝つのではなく、誰もが個々の力を発揮するチームが本当に強い。それを社会人パレーで体感。熱い気持ちでみんなを巻き込み、全員参加のチームづくりを行った経験が「置いてきぼりをつくらないまちづくり」の構想につながる。

イケマキは**愛の人**

小学生の頃、自閉症の友人が突然、養護学校へ転校。別れの言葉も言わせてもらえなかったことに疑問と憤りを感じたイケマキ。分けることが差別を生む。人は、みんな尊重されるべき。それはずっと持ち続けている信念。

イケマキは**行動派**

人も社会も、もっと良くなっていく。そう思うから、大きな声に負けない。多数の声に負けない。常識とされる考えに負けない。権力を恐れない。イケマキは行動し、進化し続ける。

池田まきプロフィール

1972年5月24日、東京都生まれ。北海道大学公共政策大学院修了。現在はフリーソーシャルワーカーとして活動。息子が2人。

【主な職歴】

東京都板橋区役所福祉事務所 / 北海道NPO被災者支援ネットワーク生活相談センター長 / 札幌市北区第二地域包括支援センター社会福祉士 / 北海道社会福祉士会被災生活保護受給者生活再建

コーディネーター及びサポーター

【主な活動】

反貧困ネットワーク北海道運営委員 / 北海道社会福祉士会企画総務委員 / 北海道大学公共政策大学院HOPS研究センター研究員 / 内閣官房地域活性化伝道師(～2014年)

【資格】

社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、ヘルパー1級 など

改正労働者派遣法を理解するために 夜間労働セミナー開催のお知らせ

●開催日時／2016年3月15日(火)18時30分～20時30分 ●会場／かでの2・7「520研修室」
お問い合わせ・お申し込みは——(一財)北海道労働協会事務局 TEL 011-233-3031 まで

平成27年9月11日に労働者派遣法の一部を改正する法律が成立し、わずか3週間後の9月30日から施行されています。

改正法では主に非正規労働者である派遣労働者の処遇改善等が焦点になりましたが、造船業などのように特別な有期事業の期間だけ地元の正社員である技術者を派遣労働者として受け入れるケースや、入札によって管理

者が数年おきに変更される下水処理施設・糞尿処理施設などで受け入れられている技術者である派遣労働者については、マスコミでもあまり取り上げられていません。

法改正のアウトラインを正しく理解するとともに、北海道特有の「季節労働」や、「臨時の需要」「有期事業」を取り巻く課題を考えます。

多くの方のご参加をお待ちしています。

セミナーの日程・科目・講師

日程	内容	講師
3月15日(火) 18時30分 ～ 20時30分	1 北海道の臨時的労働をとりまく課題 2 特定労働者派遣事業の廃止がもたらす中小零細事業の廃業危機 3 組織単位と派遣労働者個人単位の抵触日とは 4 派遣先事業所単位の抵触日とは 5 雇用の安定のための措置の実効性	北校労働法務事務所 社会保険労務士 田原 咲世 氏 ・大阪市出身 ・立命館大学大学院 社会学研究科修士課程修了 ・旧労働省入省 鹿兒島労働局 本省雇用均等・児童家庭局 北海道労働局 勤務 ・厚生労働省退職後、社会保険労務士登録 ・NPO法人人材ビジネスコンプライアンス推進協議会理事 ・派遣検定試験問題作成委員 ほか

おめでとう
ございます!

マンスリー新春パズル当選者決定

「MONTHLY れんごう北海道」264号(新春号)の新春パズル当選者20名が決定いたしました。当選者の方々は以下のとおりです。おめでとうございます。

クロスワードパズルの正解は「サンギイン」でした

新春パズルご当選者(敬称略・五十音順)

赤城裕子(白老町・連合白老)／大山純司(札幌市厚別区・国公連合)
小野寺徹(今金町・JP労組)／数又紀和子(函館市・北教組)
工藤信晴(苫小牧市・JP労組)／黒石公晴(登別市・JAM北海道)
佐々木ひとみ(苫小牧市・連合苫小牧)／高野昌之(帯広市・森林労連)
富樫大祐(室蘭市・JAM北海道)／中谷幸子(苫小牧市・JP労組)

中村淳(上川町・JP労組)／野坂功朗(深川市・自治労)
藤井和則(函館市・電力総連)／藤田勝吉(札幌市厚別区・NTT退職者の会)
藤本和男(札幌市西区・JP労組)／古御堂美保(釧路町・私鉄総連)
堀田孝(釧路市・北退教)／宮崎直史(札幌市中央区・自治労)
村田紋香(札幌市西区・電力総連)／吉田雅人(札幌市中央区・自治労)



3月の主な動き

イベントカレンダー

■2016春季生活闘争勝利全道総決起集会
2日(水)18:00/教育文化会館
■第6回中央執行委員会
3日(木)13:30/連合会館
■第1回メーデー実行委員会
4日(金)13:30/自治労会館
■3.8国際女性デー北海道集会
5日(土)13:00/自治労会館

■3.11東日本大震災被災パネル展
7日(月)10:00/かでの2・7
■函館地区春闘総決起集会
9日(水)18:00/函館市テレシアター
■留萌地協春闘総決起集会
10日(木)18:00/留萌市中央公民館
■宗谷地協春闘総決起集会
10日(木)18:30/稚内海員会館

■春闘街宣行動(18・22・24日も)
16日(水)12:00/紀伊國屋書店等
■第3回地方連合会事務局長会議
24日(木)13:30/連合会館
■第6回執行委員会
25日(金)10:00/連合北海道会議室
■第5回地協事務局長会議
25日(金)13:30/連合北海道会議室